おらほの自慢っこ
シリーズ 18

来てけれ！　八郎潟町

八郎潟町産業課
千田　浩美

願人踊

秋田県指定無形民俗文化財の「願人踊（がんにんおどり）」は毎年5月5日に行われており、一日市神社祭典で奉納踊を演じた後、各家々を門付けして回ります。
裾をはしょった女物の長襦袢の羽織、前垂れを腰から下げた踊り手の、奔放でリズミカルな踊りが特徴で、途中、山賊「定九郎」と爺ちゃ「与市兵衛」が登場して演ずる寸劇が踊りを一層楽しいものにしています。

一日市盆踊り

秋田県の三大盆踊りの一つとされる一日市盆踊りは、毎年8月18日から20日までの3日間、一日市商店街を会場に開催されます。
昔は様々な踊りがありましたが、永い年月の間に「見る踊り」ではなくなり、いわゆる「踊る踊り」として大衆化し、浴衣姿や色とりどりの仮装をした踊り子が、太鼓や笛の音に合わせて歌いながら踊る姿は、夏の風物詩となっています。

一日市裸参り

1月1日午前0時、冷水で水垢離をして体を清めた若者たちが、勇ましいいでたちで樽神輿を担ぎ、除夜の鐘が鳴り響く中、一日市神社を始めとして町内の各神社を参拝します。
県内裸参りのトップを切る行事です。

塞ノ神農村公園（田んぼアート）

町を一望できる展望台があり、小学校の「なべっこ遠足」の定番スポットとしても町民に親しまれています。
平成28年からは八郎潟町地域振興協議会による田んぼアートが鑑賞でき、町内外からも多くの人が訪れております。

八郎潟町のお土産

あんごま餅

つくだ煮

いちじく羊羹

土地改良区の概況について

男鹿市土地改良区
三戸　悟

本土地改良区は、平成30年1月に男鹿市内の旧7土地改良区の合併により、男鹿市土地改良区として新設されました。

本地区は、男鹿半島の南東部、寒風山の麓に広がる受益面積が水田約2,170ha、畑地約170haで一部男鹿国定公園と中央北西部に位置する北浦一ノ目潟地区が含まれる、組合員約1,500人の土地改良区で、旧若美地区、男鹿東部地区、渡部地区、払戸地区、福川地区、八西地区、一ノ目潟地区の7地区からなり、一ノ目潟地区と一部地区を除き、八郎潟西部承水路から取水している関係で、地区内十数か所に揚水機場が設置されており、各施設に管理人等を設け対応しています。また、ため池等も30ヶ所程あり、施設の老朽化が進んでおり、維持管理には、各地区で多面的機能支払交付金事業も利用し、大変苦労しながらも対応しています。特に、八西地区の幹線排水路及び排水機については、できる限り早期に施設の更新ができるよう要望しているところです。

また、旧若美地区は、平成30年度に福米沢本内地区の基盤整備事業も完了し、一部の地区を除き大区画化が図られております。

現在、北浦一ノ目潟地区で、県営野村地区農地集積加速化基盤整備事業の令和2年度採択を目指して、作業を進めております。また他の地区においても基盤整備計画が出てきているところです。

男鹿においでの際には、気軽に事務所へお立ち寄りください。

寒風山から見た船越・脇本地区

寒風から見た若美・福川方面

第１排水機場

一ノ目潟ため池

「随想」――シリーズ㉘

秋田市上新城土地改良区
伊藤あや子

当土地改良区は、秋田市の北部に位置し、人口減少により空き家が目立つ地域ですが、廃校になった中学校を再利用して平成31年に〝みんなでつくる体験型拠点〟秋田市農山村地域活性化センター「さとぴあ」がオープンしました。出不精の私も、近くにできた施設を利用しない手はないと思い、早速、手始めに、孫と一緒に田植え、稲刈り体験、また、そば打ち体験、ハーバリウム講習会等に参加し、完成した作品は、改良区の窓口に飾っております。

事務所は上新城地区コミュニティセンター内にあり、施設の職員Aさん(60代男性)、Bさん(30代女性)と和気藹々と仕事をしております。

最近、総会資料作成時に昔はコピーではなく青焼きだったことでAさんと盛り上がり、調子づいた私は、自分が勤めていた頃はガリ版、鉄筆で作業していたことを話したところ、説明下手な私にBさんにはガリ版も鉄筆も理解できず、ネットで調べ始めやっと納得してくれました。店の電話番号や地図情報など、ネットで何でも調べられ便利な時代です。これまで一番助かったのが、車のハンドルロックをネット検索で解除したことですが、ただ便利なことばかりでなく、人様のブログを見て「これはいいよ」となれば、あまり必要でなくてもついつい買ってしまうことです。例えば電気圧力釜、ベジチョッパー等々。

勧誘には弱い私ですが、「オレオレ詐欺」にはかからない自信があります。自分には息子がいないので、でも、娘がいるので「おらおら詐欺」はちょっと心配です。

令和という新しい年号も慣れてきた昨今、賦課金通知書の平成から令和に直す作業に追われていたことが懐かしく感じられます。

▲さとぴあ

第20回 美しく豊かな農村づくり写真コンクール

2月4日(火)本会第1会議室にて写真コンクール審査会が行われ、入賞作品24点が決定しました。入賞作品については、本会HP「写真コンクール」のサイトにてご紹介しており、下記QRコードからもアクセス出来ますので、是非ご覧ください。

■QRコード

＜審査会の様子＞

ベストあきた賞

「継がれる道」

佐藤　成公
(撮影場所：秋田市雄和)

日本NN賞

「七夕の日」

佐伯　範夫
(撮影場所：島根県大東)

秋田県農林水産部長賞

「心のふる里」

佐藤　あい子
(撮影場所：にかほ市象潟横岡)

五城目朝市

水土里レポーター：馬場目川水系土地改良区　石井　貴浩

五城目町には朝市があり、五城目町下タ町通りには店が出て、地元の野菜や山菜が並びます。季節に合わせて山菜まつりや鍋まつりなどの多くのイベントが開催されています。

また朝市開催日と重なる日曜日に「ごじょうめ朝市plus＋」が開催されて若者の出店もされています。

毎月２、５、７、０のつく日の午前中に開催しているので、興味のある方はお越し下さい。

連合会日誌

２月17日	第6回監事会	本会第3会議室
２月17日	第4回理事会、第3回役員会	本会第1会議室
２月26日	都道府県土地改良事業団体連合会事務責任者会議	東京都
３月３日	令和元年度秋田県農業集落排水連絡協議会担当者研修会	秋田市
３月５日	全国水土里ネット理事会	東京都
３月13日	第62回通常総会	秋田市
３月18日	基金管理委員会	本会第2会議室

今後の行事予定

３月26日	全国水土里ネット通常総会	東京都

会員だより

新理事長就任のお知らせ

次の方が新たに理事長に就任されました。
〇大仙市西仙北土地改良区（R2.2.5）
理事長　佐々木　孝雄

リレー感想文 vol.20

広報業務を担当して2年が経とうとしていますが、会報誌の編集に携わる度、広報の難しさなど実感させられる事が多くあります。改良区、県、関係者の皆様には広報業務にいつも快く協力して頂き感謝の気持ちでいっぱいです。来年度からも「秋田の土地改良」がより一層良いものとなるように努力して参ります。

総務企画部 広報・渉外班　寺澤　藍

編集後記

昨今のしごとの内容、ふと　めがね？のCM「小さすぎて読めないー」を連想します。

30年ほど前は、どこの事務所でも課長の後ろに「世話活動に徹しよう」という、額入りの壁掛け標語があり仕事の根幹になっていました。今どきは、やりすぎれば「おっせかい」、でもＮＮの原点ではないかと思って仕事にむかっていますヨ。

◇なぞかけ◇

土地連最後の投稿となりますので、なぞかけをひとつ。

土地改良事業とかけて、「オリンピックの球技種目」ときます、そのこころは「ネットプレー」が見逃せません。　（広報・渉外班　松橋）

【発行所】　秋田県土地改良事業団体連合会　〒010－0967　秋田市高陽幸町3番37号
TEL 018－888－2750(代)　FAX 018－888－2834
http://www.akita-midori.net/

（ISO9001:2015認証）
MSA-QS-3254　JAB CM024